



平成 23 年 9 月の北海道の自殺者数は 136 人でした。また、全国の自殺者数は 2,398 人、そのうち男性は 1,618 人、女性は 780 人でした。

以下に、全国および北海道の先月比と前年同月比の自殺者数の増減を示します。

平成 23 年 8 月末と 9 月末の月別自殺者数の比較(単位:人)

	総数(全国)	男性(全国)	女性(全国)	北海道
平成 23 年 8 月	2,589	1,747	842	121
平成 23 年 9 月	2,398	1,618	780	136
増減	-191	-129	-62	+15

9 月の自殺者数は、前月比で全国的に男女とも減少傾向が見られました。前年比では、総数 191 人減、男性 129 人減、女性 62 人減となりました。

また、都道府県別では、自殺者数が増加したのは 14、減少したのは 31、増減なしは 2 でした。

平成 22 年 9 月末と平成 23 年 9 月末の月別自殺者数の比較(単位:人)

	総数(全国)	男性(全国)	女性(全国)	北海道
平成 22 年 9 月	2,490	1,739	751	120
平成 23 年 9 月	2,398	1,618	780	136
増減	-92	-121	+29	+16

前年同月比では、総数 92 人減、男性 121 人減、女性 29 人増でした。

また、都道府県別では、前年同月比で自殺者数が増加したのは 18、減少したのは 26、増減なしは 3 でした。

全国の 9 月の自殺者数は、女性の前年同月比で増加しましたが、先月比・前年同月比ともに減少傾向が見られました。一方、北海道の 9 月の自殺者数は先月比・前年比ともに増加しています。

◇◇◇◇◇平成 22 年の「人口動態統計」の自殺者数[厚生労働省公表]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

厚生労働省から平成 22 年の「人口動態統計」の自殺者数が公表されました。

厚生労働省の「人口動態統計」によると、平成 22 年の全国の自殺者数は 29,554 人でした。

そのうち、男性は 21,028 人、女性は 8,526 人でした。平成 21 年の自殺者数と比べると、1,153 人減でした。そのうち、男性は 1,161 人減、女性は 8 人増でした。

平成 22 年の北海道の自殺者数は 1,393 人でした。そのうち、男性は 987 人、女性は 406 人でした。平成 21 年の自殺者と比べると、46 人減でした。そのうち、男性は 31 人減、女性は 15 人減でした。

北海道の自殺者数は、平成 10 年に急増して以来毎年 1,400 人から 1,500 人前後で推移しており、平成 20 年に最も多くなりました。しかし、平成 21 年、平成 22 年と 2 年続けて減少しています。

—厚生労働省「人口動態統計」と警察庁「自殺統計」の違い—

厚生労働省「人口動態統計」と警察庁「自殺統計」では、調査対象範囲、計上時点の違いなどにより自殺者数の違いがあります。

厚生労働省の「人口動態統計」は、日本人のみを対象とし、自殺者の住所地をもとに死亡時点で計上されます。また、死亡時点で自殺かどうかわからない時は「自殺以外」として処理されます。

警察庁の「自殺統計」は、日本にいる外国人も含まれ、発見地で計上され、後に自殺であると判明した場合には、その時点で計上されます。

\*\*\*\*\*

## 【2】様々な自殺対策の取組み

### ◇◇◇◇◇自殺予防と自殺報道◇◇◇◇◇

マスメディアによる自殺報道は、事実関係に併せて自殺の危険を示すサインやそれに気づいた時の対応方法、様々な相談機関の窓口の情報など自殺予防に有用な情報を提供することにより自殺予防に大きな効果が得られます。一方、自殺手段の詳細な情報、短期集中的な報道は自殺を誘発する可能性があります。例えば、平成 20 年に起こった硫化水素ガスを用いた自殺では一時詳細な報道が行われたこともあり自殺者数が増加したとされています。

自殺総合対策大綱において、国民の知る権利や報道の自由も勘案して、政府が直接報道のためのガイドラインを作成するのではなく、適切な自殺報道が行われるよう世界保健機関の「自殺予防マスメディアのための手引」を報道各社へ情報提供すること等によりマスメディア自身による自主的な取り組みを期待するとしています。

以下に、世界保健機関の「自殺予防 マスメディア関係者のための手引」よりメディア関係者のためのクイック・リファレンスを紹介します。

#### ★「自殺予防 マスメディア関係者のための手引」メディア関係者のためのクイック・リファレンス

- 努めて、社会に向けて自殺に関する啓発・教育を行う。
- 自殺を、センセーショナルに扱わない。当然のここのように扱わない。  
あるいは問題解決法の一つであるかのように扱わない。
- 自殺の報道を目立つところに掲載したり、過剰に、そして繰り返し報道しない。
- 自殺既遂や未遂に用いられた手段を詳しく伝えない。
- 自殺既遂や未遂の生じた場所について、詳しい情報を伝えない。
- 見出しのつけかたには慎重を期する。
- 写真や映像を用いることにはかなりの慎重を期する。
- 著名な人の自殺を伝えるときには特に注意をする。
- 自殺で遺された人に対して、十分な配慮をする。
- どこに支援を求めることができるのかということについて、情報を提供する。
- メディア関係者自身も、自殺に関する話題から影響を受けることを知る。

資料：WHO「自殺予防 メディア関係者のための手引き」(2008 年改訂版日本語版)

訳 河西 千秋(横浜市立大医学部精神医学教室)

(平成 23 年 内閣府 自殺対策白書より抜粋)

\*\*\*\*\*

### 【3】お知らせ

◇ 『自殺未遂者支援専門研修』を開催します。

日時:平成 24 年 3 月 24 日(土)

場所:かでの 2・7

テーマ:自傷行為と思春期・青年期の自殺未遂

①基調講演:松本俊彦氏 (国立精神・神経医療研究センター自殺実態分析室長)

②実践報告などを予定

その他:入場は無料です。事前申込の必要はありません。当日参加が可能で、どなたでもご来場いただけます。当日のご参加をお待ちしております。

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で受け付けています。

月曜日から金曜日

9:00～21:00

土曜日曜祝日(12月29日～1月3日を除く)

10:00～16:00

Tel:0570-064556

※ご相談の電話が集中しますとつながりづらい状態になりますが、ご了承ください。

◇ HP・携帯版 HP をご覧ください

北海道地域自殺予防情報センターの HP を設置しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくなるよう心がけています。

また、携帯電話で見られる携帯版 HP も設置しています。うつ病や依存症、借金問題についての知識をはじめ、「死にたい」と相談されたときの対応の方法についての情報を Q&A 形式で紹介しています。ぜひご覧ください。

PC 版 HP URL:<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

携帯版 HP URL:<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm>

\*\*\*\*\*

### 【4】編集後記

このたびの未曾有の大震災で被災された皆様、福島第一原発事故により避難されている皆様の一日も早い生活再建をこころよりお祈り申し上げます。

お知らせにもありますが、来年3月に『自殺未遂者支援専門研修』を開催します。詳細が決まり次第、再度「Andante」やHPで告知いたします。

秋の気配も深まり、紅葉の美しい季節もあと少しで終わりを迎えますね。初雪の便りも届き、冬の訪れを感じることも多くなったように感じます。寒さに向かう季節となりました。お風邪など召されませぬようご自愛下さい。

今後も「Andante」のご愛読を宜しくお願い致します。

次回 Vol.29 は 2011 年 11 月末に配信予定です。

＊お問い合わせ先＊

北海道立精神保健福祉センター

札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail [hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp)